

令和 7 年度 プラスチック成形技術講演会

～ サークュラーエコノミーと再生プラスチック ～

来年度より施行される改正資源法では、プラスチックをはじめとする再生材の利用計画の策定や原材料等の再資源化の促進などが求められており、製品ライフサイクル全体を見据えた資源循環の取り組みが重要になります。

本講演会では自動車における再生材活用促進に関する取り組みおよび再生プラスチックの製造・利用に関する先進的な取り組みについてご紹介いただきます。

日 時 : 令和 8 年 3 月 4 日 (水) 14:30～16:30
(受付開始 14:00)

場 所 : 名古屋市工業研究所 第 2 会議室 (管理棟 4F)

参加費 : 無料

定 員 : 50名

申込方法は裏面をご覧ください。

14:30～14:35 主催者挨拶

14:35～15:25

講演「再生材活用促進に向けた自工会の取り組み」

講師：一般社団法人 日本自動車工業会 リサイクル・廃棄物部会

グローバルリサイクル対応分科会 分科会長 永井 隆之 氏

近年、サーキュラーエコノミーへの転換は社会的な流れとなっています。
日本自動車工業会では再生材等の供給・活用促進を目指し、
「2050 年長期ビジョンと中長期ロードマップ」及び「再生材の目標値」を
策定、公表しました。本講演では、その取り組みについてお話しします。



15:35～16:15

講演「豊田通商の自動車における資源循環の取り組み/

プラニックの Car to Car 樹脂リサイクルの取り組み」

講師：株式会社プラニック 代表取締役 山下 晴道 氏

豊田通商グループであるプラニックでは、高度選別技術により廃プラスチックから高品質の再生プラスチックを生産しています。本講演では、豊田通商およびプラニックにおける取り組み及び Car to Car リサイクルにおいて直面している課題についてお話しします。



16:15～16:30 名刺交換会

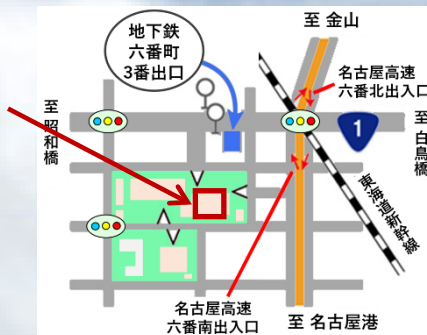
主催：名古屋市工業研究所、愛知県プラスチック成形工業組合

協賛 (公財)名古屋産業振興公社、(一社)中部日本プラスチック製品工業協会、
中部プラスチック金型協同組合、(一社)プラスチック成形加工学会東海支部、(公社)自動車技術会中部支部

(会場について)

名古屋市工業研究所 管理棟 4F 第2会議室

名古屋市営地下鉄 名港線『六番町』下車、
3番出口より徒歩2分



名古屋市工業研究所
交通アクセス



※当日、風邪症状のある方は参加をお控えいただくなど、感染症の拡大防止にご協力ください。

(申込方法)

下記 URL の入力フォーム または FAX にてお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/mX9C/1386266>

右の二次元コードからも入力フォームにつながります。

プラスチック成形技術
講演会 参加申込



(問い合わせ先)

名古屋市工業研究所 環境・有機材料研究室 担当：岡本

E-mail: okamoto.kazuaki@nmiri.city.nagoya.jp (送信時は<a>を@に変えてください)

TEL: 052-654-9902, FAX: 052-654-6788

名古屋市工業研究所 環境・有機材料研究室 行き

送信先: FAX: 052-654-6788

プラスチック成形技術講演会 参加申込書 (申込締切 2月27日)

会社名		
住所	〒	
所属・役職		
氏名		
E-mail		
電話番号		
メールマガジン「NMIRI 技術ニュース」 (月1回、当所のイベント情報等を配信)	☐ 配信を希望する ・ ☐ 希望しない ☐ 登録済み	

※ご記入いただきました個人情報は、受講者への連絡・講師への情報提供など講演会目的、(希望者への)メルマガ配信以外には使用いたしません